

## 令和3年度大阪府立大学校友会第3回理事会議事録

《日時》 令和4年1月17日(月) 午前10時～11時30分

《場所》 ZOOM

### 《議事》

議事に先立ち、事務局から理事会の成立要件(会則第12条第5項、出席者名簿は別添)を満たしている旨の報告とともに、また、会議の形態がズーム会議として開催することになったことについての承認を得た。また会長が不在のため、津戸副会長が議長となることの承認を得て議事に移った。

#### 1. 上田会長辞意への対応について

議長より、2021年12月末に上田会長から、体調不良のため辞意の表明があった旨の説明があった(資料1)。資料2に従って、山口評議員から校友会事務局・会長あてに出されたメールと返信メールの概要が説明された。

会則(第8条)に従って、副会長から会長代行者を選出し、新会長が決まるまでの間の会長業務を代行することで合意された。津戸副会長が会長代行に推薦され、出席者全員の賛同で承認された。

3月5日の評議員会までに理事会で新会長候補を選出し、評議員会で新会長決定を目指すこととした。会長候補選出に当たっては、従来の慣習(経済→工学→農学)で順送りする等に囚われずに選出すべきとの意見があった。

大阪公立大学校友会の理事については、新会長が決まるまで上田会長に留任してもらうことで合意された。

#### 2. 事務局長(府大校友会・新大大学校友会)採用について

事務局(中井)から、資料3に基づき事務局長採用に伴う法的な課題について概要を説明した。

津戸副会長、北畠理事他の方から、権利能力なき社団として事務局長の雇用については、雇用契約を校友会代表者の個人名で行うことで可能であるとの見解が示され、理事会として事務局長採用を進めることで合意した。

事務局(中井)から、資料4に従って校友会の人事計画が説明された。当初の計画(A案)通り、府大校友会の事務局長を採用して、4月以降は新大大学校友会の事務局長も兼務してもらう方向で進めることで合意した。

採用に際しては、基本的に前回と同じ条件で、評議員の皆さんから候補者の推薦を募る。候補者は理事会で選考して最終決定する。

#### 3. その他

- ・大阪公立大学校友会の活動費について

事務局(中井)より、大阪公立大学校友会の開設前の活動費として、府大校友会と市大同窓会から資金を貸し出すことについて口頭で打診があった。金額は各 100 万円程度の予定で、大阪公立大学校友会は、会費収入が得られたのちに返済する(次年度になる可能性がある)。

出席者から特に異議はなく、実施する方向で承認された。

・その他

校友会を法人化することが提案され、新大学の校友会も含めて今後の課題として検討する。

出席者

《校友会役員》

副会長 津戸正広 仁科亮子 山口舞子

会計理事 原田敦史 木下里香

理事 岩崎泰典 藤田勝久 北畠哲夫 西嶋和徳 吉田幸恵

監事 矢本博三 菊田久雄

(以上 12 名出席/役員 15 名)


《事務局》

公立大学法人大阪 ステークホルダー連携推進室 中井勝雅 玉沖さやか

《議事録署名人》

2022 年 / 月 2 / 日

大阪府立大学校友会理事会議長 (会長)  
代行

津戸正広 

大阪府立大学校友会副会長

仁科亮子 

大阪府立大学校友会理事

藤田勝久 